



## 桜っ子の心を地域で育てる

3/17

池宮神社の境内で、11回目となる「佐倉地区桜っ子まつり」が開催されました。当日は、焼きそばや手芸品の出店、ステージ披露などたくさんのイベントが催され、会場は盛り上がりを見せました。清水義明実行委員長は、「イベントが地域のふれあいの場としてこれから続いてほしい」と話しました。

◀親子で仲良く「はい！チーズ！！」



## 温かな歌声で観客を癒やす

3/23

9回目となる菜の花コンサートが御前崎総合病院で開かれました。ステージでは、地元のコーラスグループ「ささゆりの会」と「ひばり会」が、童謡や昭和の歌謡曲を含む5曲を披露。入院患者や施設利用者らを楽しませました。ステージの最後には全員で「ふるさと」を合唱し、会場は温かい雰囲気に包まれました。

◀大勢の来場者が春の歌を楽しんだ



## 浜中生が仮設校舎へ大移動

3/28

4月から始まる校舎の改築工事に向け、生徒がグラウンドにある仮設校舎に引っ越しました。生徒たちは自ら机や椅子を運ぶことで良い思い出をつくることができたようです。教室からは、空調などの設備が整った新しい環境を前に、「学業に専念できる」といった声が聞かれました。

◀設備の整った仮設校舎に荷物を運ぶ生徒たち



## 五感で味わう「つゆひかり」

4/6

御前崎市の奨励品種である「つゆひかり」の茶摘み体験ができる「茶園ピクニック」が、あらさわふる里公園で開催されました。県内外から親子連れ約80人が集まり、一芯二葉の摘み方で新茶の茶摘みを体験しました。茶摘み後、参加者は急須で入れたお茶や茶葉の天ぷらを味わいました。

◀新芽を摘み取る参加者